

◆佐渡金銀山の情報をお伝えします



佐渡金銀山だより

Sado Gold and Silver Mine Newsletter

8月9日(日)

きらりうむ佐渡体験講座
折り紙建築で
旧佐渡鉱山施設を
つくろう！



講師の五十嵐暁浩氏

むずかしいけど
とっても楽しい！

つくろう！

Vol.22
2020.9.15

親子で取り組む様子

完成した折り紙建築の旧佐渡鉱山採鉱施設▶



8月9日(日)、きらりうむ佐渡で体験講座「折り紙建築で旧佐渡鉱山施設をつくろう！」が開催されました。

講師を務める五十嵐暁浩氏の丁寧な指導のもと、4組の親子を含めた計15名が折り紙建築で大立竪坑櫓と高任粗碎場を作製しました。



講師の五十嵐暁浩氏と参加者の皆さん

Sado Gold and Silver Mine Newsletter 第22号 INDEX

- 2.....▶推薦書(原案)の修正点
- 3.....▶世界遺産国内推薦候補選定先送り
- 4.....▶構成資産等の保存・整備の状況
- 5.....▶上野文部科学副大臣佐渡視察
- 6.....▶特集「佐渡金銀山だより10年のあゆみ」
- 7.....▶きらりうむ佐渡通信VOL.1
- 8.....▶2020年度今後のイベント情報

推薦書（原案）の修正点

1. 資産名称の変更

「佐渡島の金山」： “Sado Island Gold Mines”

（旧版 「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」： “The Sado Complex of Heritage Mines, Primarily Gold Mines”）

佐渡金銀山の世界的な価値を説明する上で、「金」に関わるもの、佐渡という「島」にあることをより強調し、シンプルで呼びやすい名称に変更しました。

2. 対象時期の絞り込み

戦国時代末～江戸時代：「伝統的手工業による金生産の時代」

（旧版 戦国時代末～明治時代前半：近代化への円滑な移行まで）

国内外の類似する資産等との比較研究を深めた結果、「伝統的手工業による金生産の時代」にこそ世界遺産としての価値、強みがあることが明確になり、対象時期の絞り込みを行いました。

3. 構成資産

①相川鶴子金銀山（相川金銀山＋鶴子銀山）／②西三川砂金山

（旧版 ①相川金銀山 ②鶴子銀山 ③西三川砂金山）

異なるタイプの「2つの金鉱床」（鉱脈鉱床・砂金鉱床）とその「2つの金鉱山」で展開した生産技術・生産体制であることをより端的に説明するため、歴史的にもつながりが深く、地理的にも近接する鶴子銀山と相川金銀山は古道（西五十里道・鶴子道）でつながる一つの資産として扱うことにしました。

4. 価値及び適用する評価基準*

評価基準iii 文化的伝統：集落遺跡は「生産体制（庶民文化を含む）」を伝える物証

評価基準iv 科学技術の集合体：鉱山遺跡は「生産技術」を伝える集合体

（旧版 iii 文化的伝統：西洋とは異なる独自の手工業による金銀生産の物証）

評価基準*…ユネスコが示す世界遺産登録のための価値評価の基準で10項目の内、いずれか1つ以上に合致していることが求められる。「文化遺産」の基準はi～viの6項目

前回の修正（2018年3月提出）でも、佐渡は西欧及びその進出先における機械化された生産とは異なる手工業による生産を示す物証であることを説明していました。今回の修正ではその違いや手工業の時代の物証の特徴をより明確に説明するため、「金生産システム（金鉱山の総体）」＝「金生産技術（評価基準iv）」＋「金生産体制（評価基準iii）」として整理・説明しました。

二〇二〇年三月末に文化庁に提出した推薦書（原案）の主な修正点についてご紹介します。



●修正案で主張する「佐渡島の金山」が持つ世界的価値とは

人類が希求し続けてきた「金」を獲得するため、江戸時代、我が国では鎖国というヨーロッパの影響を大きく受けない状況の下、伝統的手工業によって金生産が行われました。国内を代表する金山である「佐渡島の金山」では、徳川幕府の直接管理の下、高純度の金を産む生産技術とそれを可能とする高度に専門化された生産体制が整備され、金生産システムが究極まで高められました。これは同じ頃にヨーロッパとその進出先で行われていた機械装置を多用する鉱業とは対照的なあり方を示すものです。

「佐渡島の金山」では異なる二つの金銀鉱床（鉱脈鉱床・砂金鉱床）の開発が進められ、17世紀には世界最大級の産出量を上げ、徳川幕府の財政やオランダを通じて世界貿易にも貢献しました。

現在、佐渡には金の生産技術に関わる採掘・選鉱・製錬の遺跡、生産体制に関わる奉行所跡や鉱山集落跡などが残り、鉱山の全体像を理解することができます。

こうした遺跡が良好に残るのは世界的に見ても佐渡だけで、そこに世界遺産登録の意義があると考えています。

金生産システム

- 金獲得のため、徳川幕府による直轄管理・運営



佐渡奉行所跡

金生産体制

- 高度に専門化・分業化された労働者集団

- 日本各地からの労働者達によって育まれた芸能・信仰
[庶民文化]



鉱山集落跡(上相川)



鉱山集落(相川上町)



寺院跡の墓石(上寺町)



大山祇神社(西三川)

金生産技術

- 異なるタイプの鉱床（鉱脈・砂金）に合わせた伝統的手工業による技術
- 一連の生産工程 [採鉱—選鉱—精錬—(貨幣製造)]



露頭掘り採掘跡(道遊の割戸)



大流し砂金採掘跡(虎丸山)



坑道跡(大切山間歩)



製錬遺構群(佐渡奉行所跡)

お知らせ 世界遺産国内推薦候補選定先送り

6月29日(月)、文化庁から新型コロナウイルスの影響によって、国内推薦候補の選定に向けた国文化審議会への諮問を取りやめたことが発表されました。今年こそはと多くの皆さんが世界遺産への推薦を期待されていたと思いますが、1年先送りとなりました。大変残念ですが、1年準備期間をいただいたと考え、新潟県・佐渡市は世界遺産登録の実現に向けてこれからも全力で取り組んでまいります。引き続きご支援をお願いいたします。

構成資産等の保存・整備の状況

国史跡 金子勘三郎家住宅 修理事業



金子勘三郎家住宅の保存・活用に向けた修理工事の様子

保存・活用に向けて修理を行います

金子勘三郎家住宅は、平安時代の『今昔物語集』の舞台と推定される佐渡最古の砂金山がある西三川の笹川集落内にあります。

この住宅は、砂金の採掘を取り仕切った世話役の住宅であり、1700年代後半に建築されたと推定される主屋など全5棟で構成される文化財です。

2020年度から、老朽化した木造茅葺屋根の主屋を保存するための修理工事を開始しました。

修理工事にあたっては、建築当時の木部材等を丁寧に取外し、可能な限り再利用して文化財の価値を損なうことのないよう慎重に作業を進めており、修理工事完了後は、笹川集落散策の拠点施設として一般公開を予定しています。



空から見た金子勘三郎家住宅

重要文化財 旧佐渡鉱山採鉱施設 保存修理事業

す。10数年の長期に及ぶ修理事業で、2020年度からは大立堅坑 櫓 及び大立堅坑捲揚機室の保存修理に着手します。

大立堅坑櫓では、建物の本格的な保存修理に先立って必要になる仮設の覆い屋を2020年度から2021年度にかけて設置します。この仮設の覆い屋は、「素屋根」と呼ばれ、建物の修理方法を検討する際の事前調査や部材の補修作業などで利用されるほか、修理中の建物を風雨などから守る役割も担います。



調査を予定している大立堅坑捲揚機室

大立堅坑櫓及び大立堅坑捲揚機室の 保存修理を行います

佐渡市では、2018年度から重要文化財「旧佐渡鉱山採鉱施設」の保存修理に着手していま

す。

おおだててこうやぐら

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお

おお



修理工事を予定している大立堅坑櫓

大立堅坑捲揚機室では、建物の本格的な保存修理に向けた事前の準備として、仮設の足場を設置し、大立堅坑捲揚機室の地震に対する安全性などについて建物調査を実施します。この調査結果を基に

して、2021年度以降の保存修理に向けた方針の検討を行います。

事前の調査や準備は、文化財を将来にわたって保存するための大切な作業であり、今後の本格的な修理工事には欠かせないものです。

～文化財を未来へつなげる～

重要文化財 新潟県佐渡奉行所跡 出土品保存修理事業

重要文化財（考古資料）の 修理を行っています

国史跡佐渡奉行所跡では1994年度から1998年度にかけて復原整備のための発掘調査が行われ、鉛板などの金銀製錬に欠かせない道具のほか、近世陶磁器、木製品、金属製品など多数の遺物が出土しました。

た。その中でも金銀山が最も栄えた17世紀前半の陶磁器類や金銀製錬に関する遺物等、佐渡奉行所のもつ機能や当時の生活をうかがい知ることのできる出土遺物のうち928点が、2011年6月に重要文化財（考古資料）「新潟県佐渡奉行所跡出土品」に指定されています。

これら重要文化財の中には補修・補強剤の劣化等により脆弱なもの、一部破損しているものもあります。この状況を改善し、将来にわたり適切に保存していくために2012年度から修理を行っています。これまでに陶磁器44点、木製品2点、金属製品4点の合計50点の修理を行いました。年度ごとの修理の様子や実績については佐渡市ホームページでも紹介していますので、ぜひご覧ください。



修理作業の様子（唐津焼大皿）

TOPICS 上野通子文部科学副大臣が佐渡金銀山を視察しました

8月6日（木）・7日（金）、上野通子文部科学副大臣が佐渡金銀山の構成資産を視察しました。最初にガイダンス施設「きらりうむ佐渡」で、佐渡金銀山の概要をご覧いただき、相川金銀山の宗太夫坑、佐渡奉行所跡、上相川遺跡、北沢浮遊選鉱場などを視察、西三川砂金山では、笹川集落を散策されました。

映像を中心とした「きらりうむ佐渡」は、当時の様子がイメージでき、現地で遺跡がよく理解できたとの評価をいただきました。また、佐渡金銀山については、視察前とは大きくイメージが変わり、金によって成り立った黄金の島がすばらしいものであると実感できたと印象を語られました。その上で、今後も引き続き佐渡金銀山の世界遺産登録を目指す取り組みへの支援、協力をお約束されました。

このほか、副大臣の地元である栃木県の世界遺産、日光東照宮の例から、子どもたちや高齢者の見学に配慮した取り組み等についてもアドバイスがあり、大変参考になりました。

いただいた評価やアドバイスを活かし、世界遺産登録への準備を進めていきます。



上野文部科学副大臣視察の様子

佐渡金銀山だより

10年のあゆみ



記念すべき創刊号 (2010.3.31発行)

佐渡金銀山だよりは、2010年3月31日に第1号が創刊されました。その後も第21号まで佐渡金銀山の世界遺産登録に関する様々な情報を年2回の刊行で紹介してきました。

創刊から10年が経過し、世界遺産登録も目の前に迫っています。今回は、佐渡金銀山と佐渡金銀山だよりの10年のあゆみを紹介します。



記念すべき創刊号記事 (2010.3.31発行)

PICKUP ① 北沢地区・大間地区の整備

佐渡金銀山だよりが創刊された2009年度は、北沢地区・大間地区の整備が行われました。

北沢地区では、発掘調査で確認された建物壁などを露出展示し、大間地区では、海岸に向けてベンチを設置し、近代の産業遺産と夕日のマッチングを楽しむことができるようになりました。現在では当たり前の景色ですが、整備から10年しか経過していないのですね。

PICKUP ② 「にゃんじー」誕生

2013年から相川の魅力を発信する『あいかわらばん』が創刊されました。

そのなかで、2014年1月には、マスコットキャラクター「にゃんじー」が誕生しました。

※あいかわらばんのバックナンバーは市ホームページで公開中です。

6年ぶり、金銀山だより
2回目の出演だにゃ。



第9号記事 (2014.3.31発行)

佐渡金銀山だよりで振り返る佐渡金銀山10年のあゆみ

年月日	主な出来事
2010.3.31	PICKUP ① 佐渡金銀山だより創刊号発行
2010.11.22	「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」として国の世界遺産暫定一覧表に記載
2011.2.7	「鶴子銀山跡」が国史跡に追加指定
2011.9.21	「佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観」が重要文化的景観に選定
2012.1.24	「片辺・鹿野浦海岸石切場跡」が国史跡に追加指定
2012.12.28	「旧佐渡鉱山採鉱施設」が重要文化財に指定
2013.3.27	「上相川地区」が国史跡に追加指定
2014.1.24	PICKUP ② 佐渡相川のマスコットキャラクター「にゃんじー」誕生
2014.10.6	「上寺町地区」が国史跡に追加指定
2015.3.10	「相川金銀山跡」が国史跡に追加指定
2015.3.25	『推薦書原案』を文化庁へ提出 (初めて国内候補へ挑戦)

年月日	主な出来事
2015.10.7	「佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観」が重要文化的景観に選定 「西三川砂金山跡」「大間地区」「戸地地区」が国史跡に追加指定
2016.夏	PICKUP ③ 世界遺産登録推進応援ソング「佐渡は世界の宝島」完成
2018.7.12	新潟市、長岡市、上越市、佐渡市による「4市交流宣言」
2019.4.20	佐渡金銀山ガイド施設「きらりうむ佐渡」オープン
2020.3.31	佐渡金銀山だより第21号発行 (創刊10周年)

PICKUP③ 「佐渡は世界の宝島 ～World Treasure Island SADO～」が完成

2016年は、佐渡金銀山の世界遺産登録推進応援ソング「佐渡は世界の宝島～World Treasure Island SADO～」が完成し、インターネットの動画サイト【YouTube】で配信されました。映像は現在も視聴することができますので、この機会にぜひご覧ください。

また、この年は、佐渡金銀山誘導サイン（案内看板）がグッドデザイン賞を受賞しました。相川にお越しの際は、この案内看板に注目してみたいはいかがでしょうか。



第14号記事
(2016.9.30 発行)

きらりうむ 佐渡通信 vol. ①

きらりうむ佐渡から 鉱山まち相川・下町を巡る

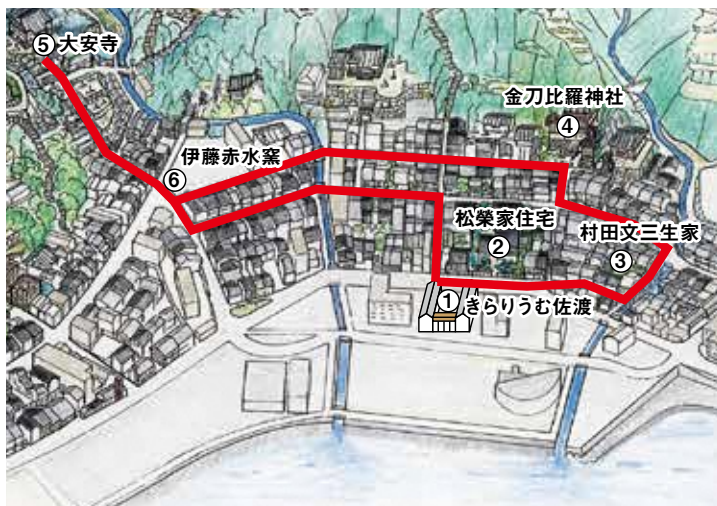
約400年前、相川金銀山の発見を契機に大規模な鉱山開発がはじまり、海と山の挟間に鉱山まち相川が誕生しました。その後、相川は江戸時代から1989年の休山まで、鉱山と共に発展してきました。相川には、上町と下

町、寺町等の地区があり、鉱山の長い歴史を物語る各時代の遺跡や建物、斜面地を活かして形成された鉱山まちの独特な佇まいは、現在も継承されています。

きらりうむ佐渡の周辺では、重要文化財の松榮家住宅や、民謡歌手として全国に佐渡おけさを広めた村田文三の生家、金刀比羅神社などを見ることができます。

鉱山まちの歴史や自然を感じながら、きらりうむ佐渡から相川のまち並みを散策してみませんか？

きらりうむ佐渡周辺の相川下町地区の1時間散策コースを紹介します。



1時間散策コース

- ①きらりうむ佐渡⇒②松榮家住宅⇒
- ③村田文三生家⇒④金刀比羅神社⇒
- ⑤大安寺⇒⑥伊藤赤水窯⇒きらりうむ佐渡

※このコースは佐渡相川ふれあいガイドの1時間基本コースの1つです。

②松榮家住宅

明治時代中期まで廻船業を営んでいた相川を代表する豪商の住宅です。雄大かつ上質な住宅として高い価値が認められています。



※内部は見学できません。

④金刀比羅神社

1675年に山師樋口五郎左衛門が願主となって造営されたと伝えられ、航海の安全を守る神として信仰を集めてきました。



ガイドのお申込み・お問い合わせは
佐渡相川ふれあいガイド事務局
TEL : 0259-74-2220
FAX : 0259-74-3321

※一週間前までにお申し込みをお願いします。

2020年度

今 後 の イ ベ ン ト 情 報

※詳細は、チラシやホームページ、市報等でお知らせします。

年	月日	イベント名	開催場所
2020	9月20日(日)	きらりうむ佐渡体験講座 「折り紙建築で旧佐渡鉱山施設をつくろう!!」②	きらりうむ佐渡
	10月10日(土)	佐渡金銀山遺跡(北沢地区) 草刈りボランティア	北沢地区
	10月18日(日)	世界遺産登録推進県内巡回講演会 「佐渡金銀山の魅力と価値を知る」①	ほんぽーと新潟市立中央図書館
	10月24日(日)	佐渡金銀山連続講座(第1回)	あいかわ開発総合センター
	11月 1日(日)	きらりうむ佐渡体験講座 「折り紙建築で旧佐渡鉱山施設をつくろう!!」③	きらりうむ佐渡
	11月 7日(土)	世界遺産登録推進県内巡回講演会 「佐渡金銀山の魅力と価値を知る」②	アオーレ長岡
	11月14日(土) 15日(日)	歴史まちづくりフォーラムin相川	あいかわ開発総合センター
	11月21日(土)	佐渡金銀山連続講座(第2回)	きらりうむ佐渡
	12月12日(土)	佐渡金銀山連続講座(第3回)	きらりうむ佐渡
	12月20日(日)	世界遺産登録推進県内巡回講演会 「佐渡金銀山の魅力と価値を知る」③	上越市春日謙信交流館
2021	1月30日(土)	佐渡金銀山連続講座(第4回)	きらりうむ佐渡
	2月13日(土)	佐渡金銀山連続講座(第5回)	きらりうむ佐渡

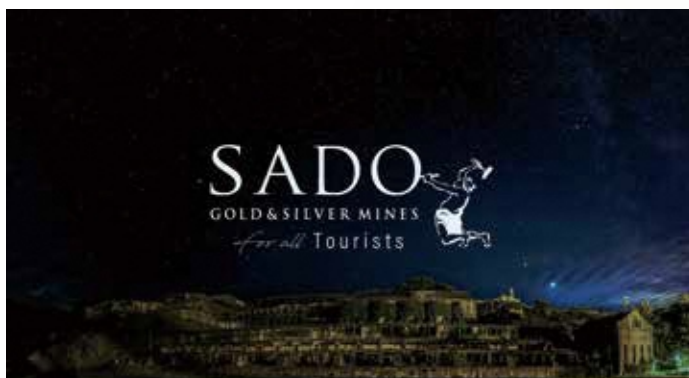
佐渡金銀山プロモーション動画を制作しました!

佐渡市では、世界遺産登録を目指す佐渡金銀山のプロモーション動画「SADO GOLD & SILVER MINES」を制作しました。

動画はインターネット動画サイト【YouTube】で配信しています。

世界に誇る佐渡金銀山の魅力を、存分にご堪能ください。

動画サイトはコチラから



田んぼアート

5月19日(火)に、「朱鷺と暮らす里の田んぼアート」の田植え作業が行われました。今年は、朱鷺と、道遊の割戸の麓に千両箱が並び小判があふれるデザインになっています。

この田植え作業には、佐渡を世界遺産にする会の皆様からもご協力いただきました。



新潟県・佐渡市



新潟県文化行政課HP



佐渡市世界遺産推進課HP



きらりうむ佐渡HP

新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室

TEL 025-280-5726

E-mail ngt500080@pref.niigata.lg.jp

佐渡市世界遺産推進課

TEL 0259-63-5136

E-mail k-goldmine@city.sado.niigata.jp

2020年9月15日発行